



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/42号 2021/12/22

◆各学年発表会に向けてラストスパート！

1月28日（金）は2年生の課題探究中間発表会です。放課後や土日の時間を利用して準備を進めてきました。中間発表ということもあり、まだまだ不十分なところも多く見受けられますが、班で話し合い、工夫を重ねながら取り組んできました。現在、保護者の参観については感染状況を慎重に見ながらその可否を検討しているところです。年明けにはその可否をお知らせできるかと思います。

1年生は3月4日（金）にミニ課題探究発表会を行います。生徒たちにとっては自分たちでテーマを見つけて取り組む初めての探究活動で試行錯誤の連続でしたが、その経験は今後に大いに役立つことと思います。「失敗を恐れずに前向きに発表」を合言葉に頑張ってほしいと思います。



写真は昨年度の発表のようす

◆繊維と染色の科学(家政科1年)

12月6日（月）、活水女子大学の寺田 貴子先生をお招きし、「繊維と染色の科学」講座を開催しました。

これは、講義・実習を通じて「繊維」と「染色」について、科学的かつ実感を伴った理解の獲得を目的として実施したものです。2日後に行われる家政科の「染色体験実習」と連携することで、相互に補完しあい、学習効果が一層高まるようになっています。

当日は、繊維の種類や添加する金属による染色や発色の違いについて、理論と実験の両面から理解することができました。

生徒からは「これからの探究活動で、身の回りにある染色できる素材を調べていたい」、「染まりやすさが染料によって違うのでSSHの活動でもっと深く探究したい」など、これからの活動に積極的に取り入れたいという感想が目立ちました。



◆県SSH指定校合同生徒研究発表会

12月19日（日）、県内のSSH指定3校主催の合同生徒研究発表会を開催し、本校からは、理科部より5グループ、2年数理探究科より2グループ、計13名の生徒が参加しました。

SSH指定校3校にWWL指定校である長崎東高校を加え、計17グループ、46名の生徒が参加しました。また、指導助言者として、長崎総合科学大学より大山 健 様、長崎大学より兵頭 健生 様をお招きし、研究についてのアドバイスを頂きました。

どの発表も高校生ならではの視点で研究発表がなされており、生徒達が持つ発想の豊かさに改めて気づかされました。特に、先週開催された研究発表会で文部科学大臣賞を受賞したレベルの高い発表を聞いたことは、生徒にとって大きな財産になったことと思います。



◆奈良女子大学サイエンスコロキウム

12月19日（日）、標記コロキウムに理科部1年生と数理探究科2年生、計5班、15名が参加しました。これは理系の女子生徒をメインにした研究発表とワークショップの2部構成です。

参加した生徒は初めての対外発表ということでかなり緊張したようでしたが、徐々に緊張もほぐれ、日頃の探究の成果をきちんと伝えることができました。生徒からは、「直接、大学の先生に助言をもらうことができ大変有益だった」「質問に的確に答えることができるようにしっかりと準備して臨みたい」といった感想が多く聞かれました。これからが楽しみです。



SSH活動の詳細は、下記URLまたは2次元コードから
→ <http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html>

